

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第4回 富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	平成28年3月30日（水）19時30分～21時20分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	加藤連治委員、大竹ミイ子委員、田中悦子委員、北田裕一委員 天野豪雄委員、神谷和義委員、久米原明彦委員 作野誠一氏（早稲田大学スポーツ科学学術院准教授） 事務局（生涯学習課：木村課長、大堀副課長、宇津木主事）
欠席者	佐藤俊博委員、井上拓哉委員、菅高志委員
会議次第	議事 （1）報告事項 ①平成27年度生涯学習課スポーツ主要事業報告 ②平成28年度生涯学習課スポーツ関係主要事業 ③平成28年度生涯学習課スポーツ関係予算概要 （2）協議事項 ①（仮称）富士見市スポーツ推進計画（案）について ・施策体系図の確認について ・基本目標の内容について ・施策展開の方向性について （3）その他
会議資料	（資料1）平成27年度生涯学習課スポーツ主要事業報告 （資料2）平成28年度生涯学習課スポーツ関係主要事業 （資料3）平成28年度生涯学習課スポーツ関係予算概要 （資料4）施策体系図の確認について （資料5）基本目標の内容について （資料6）施策展開の方向性について
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	加藤連治会長

会議内容

1 開 会

2 あいさつ 加藤会長

3 議 題

(1) 報告事項

- ①平成27年度生涯学習課スポーツ主要事業報告
- ②平成28年度生涯学習課スポーツ関係主要事業
- ③平成28年度生涯学習課スポーツ関係予算概要

【主な質疑】

委 員…子どもスポーツ大学について、募集定員が30人に対し応募が48人は客観的に多いのか少ないのか。また、参加している子ども達はスポーツが得意な子だけなのかを知りたい。

事務局…当初は子ども大学だけであったが、その後、スポーツ大学、そして今年度は子ども文化芸術大学と受講できる大学が増えてきたため、応募者が分散されている。スポーツ大学だけ見ると、去年の応募者数より少なくなっているが定員割れしたことはない。

受講者については、スポーツが得意な子もいるが、そうでない子もたくさんいる。これまでスポーツが苦手な子ども達がスポーツ大学を受講することによって、スポーツを始めるきっかけとなればと考えている。

委 員…1講座の受講時間はどのくらいか。

事務局…受講時間は様々であるが、どの講座も休憩を入れて概ね1時間から1時間30分程度となっている。

(2) (仮称) 富士見市スポーツ推進計画(案)について

【資料説明】

事務局…これまでの審議会の中でまとまった施策体系図を確認の意味で改めてお示しした。基本目標は、前は目標の文言だけであったが、今回は具体的内容を加えた。施策展開の方向性については、前は項目だけであったが、今回、さらに方向性を達成するための文言を加えた。全体のイメージを確認していただき、文言の修正、追加、削除など様々なご意見を伺いたい。

事務局…なお、今回の文言のあとに数値目標などを入れる予定であるが、その審議は平成28年度の中でお願いしたい。

【意見交換】

委 員…基本目標2の中の文言中「また…」以降について、誰が支援をするのか分からないので、主語となる「誰が」を入れたほうがよい。

委 員…基本目標3の中の文言について「健康的なライフスタイル…」は「健康的なライフスタイル…」でよいのでは。

委員…基本目標3の「保健・医療・福祉部門と…」を「保健・医療・福祉が…」に変更してはどうか。部門という言葉は「行政内部だけ」を連想させるので、行政も含め幅広く連携をする意味でも「部門」は削除した方がよい。

委員…施策展開の方向性の1-2、学校体育活動の推進について他の項目はスポーツと表記しているのに、ここだけ「体育」としているのは。

事務局…この部分については、義務教育部分であるので、学校体育という文言とした。

作野…子どものスポーツの場合でも少年団であるとか、いわゆる外部の活動については「スポーツ」という言葉を使うが、学校体育の枠の中で行う場合は「体育」という言葉が一般的である。

委員…「成人スポーツ」という言葉は一般的に使用されるものなのか。

事務局…スポーツに関する市民意識調査を行った柱立てに沿って項目を入れたので、このような表現とした。

委員…「成人のスポーツ…」という表現のほうが自然ではないか。

事務局…事務局としては、当初「成人のスポーツ…」という文言としていたが庁内の検討委員会の中では、「の」という言葉が多すぎるのではないかと指摘があった。そうしたことから今回の審議会では修正した。最終的には審議会の中でまとめていただきたい。

委員…1-3-②の日常的なスポーツ活動の推進について、具体的な考えは、

事務局…市内小中学校体育館の夜間の活動時間など、学校側との調整も必要となるが、もう少し夜遅くまで活動することが可能ではないか、あるいは、早朝のスポーツ活動もできるのではないかという意味を込めて盛り込んだ。

事務局…仮に夜間のスポーツ活動が1時間延長されれば、会社帰りの方も市内の学校体育施設を使用していただけるのではないかと考えている。検討事項としていく価値はある。

委員…1-3-①の「各種スポーツ大会、教室」という表現について、教室を受けた後、大会に参加していくという意味合いから「各種スポーツ教室・大会」に順番を変えたほうがよいのでは。

作野…1-3のところ「成人のスポーツ」の「成人」の使い方が気になっている。高齢者も「成人」の中に含まれる。ここで言っている成人の年齢の幅がどこまでなのかがわからない。他のスポーツ振興推進計画を見たところ、若者や高齢者の言葉は使われている。要はターゲットがわかればよいので、国や県の年齢層の考え方を見ていただき適切な言葉があればいいかもしれない。

事務局…この点については、改めて検討していきたい。

委員…文言の中に「スポーツ関係団体」という言葉が出てくるが「関係」という言葉は削除してよいのでは。

事務局…「関係」が入れば、スポーツ競技団体だけではなく、体育協会等も含まれる。

文言は分かりやすいようにしていきたい。

委員…2-1の「スポーツに関する情報提供の充実」について小柱が2つあるが、同じような内容であると思うので、1つにまとめてはどうか。

会長…小柱の①は施設の空き情報に関する事で、②は大会等に関する情報となるので、区分したのでは。

委員…確認して明らかに区分できるようであれば、2つのままでよいと考える。

事務局…アンケート調査の中でも情報提供は、スポーツを推進する中で大事な施策となるので、興味がない方にどのように伝えるかという意味から2つの小柱として提案した。

委員…情報提供を通じてスポーツに無関心の方をどう引き込むかが鍵になる。

作野…2-3-②の総合型地域スポーツクラブへの支援について、これについては富士見市のスポーツ推進計画の目玉になると思っている。市民意識調査の時にも結果が出ていて、知らない人は多かったが、クラブがあったら入りたいという潜在的ニーズが多かった。

ぜひ計画の中に積極的に位置付けてはどうか。これを前提に文言を見ると「相談があった場合、協議の上、支援します」としている。「設置について支援していく」という文言に変えてはどうか。また、クラブの場合は「創設」のような文言を使うので、こうした文言としてはどうか。

事務局…ご指摘のとおり変更していく。

作野…現在、全国の約8割の自治体に「総合型地域スポーツクラブ」がある。埼玉県内の約8割を超える自治体に「総合型地域スポーツクラブ」がある。他のスポーツ推進計画に掲げているところも多く、個人的には柱の一つとして掲げても問題はない内容と考えている。委員の皆さんで考えていただきたい。

委員…総合型地域スポーツクラブについて「設置」としているのは、現在、富士見市にクラブがないからか。

事務局…そのとおり。

委員…他の自治体では、創設したものの、継続に苦労しているという話も聞くので、仮に富士見市内で設立された際には、活動を支援しながら将来的にクラブが自立して運営できるようにつなげていければよいと思う。

委員…2-4-②のスポーツアスリート等に接する機会の提供についての「スポーツアスリート」という表現であるが、一般的には「トップアスリート」という言葉を使用する。また、競技スポーツ志向者の増加を図っていくとしているが、アスリートの発信力は競技スポーツ志向者の増加だけでなく、これからスポーツをする方々のきっかけにもつながっていくので、位置づけを限定せずに広い意味に改めた方がよいのでは。

- 委員…3-1の保健、福祉、医療との連携であるが、基本目標では「部門」となっているが、施策展開の方向では「分野」となっている。「部門」は行政内部のイメージであるが、「分野」は行政を超えて関係者という意味合いになる。
広い意味を持たせる意味でも、「分野」や「部門」という表現は削除を含めて見直したほうがよいのでは。
- また、介護予防事業教室であるが、介護予防事業は介護保険法も改正されてこの部分が総合支援事業という形で整理をされていくので非常に守備範囲が広がる。従って、介護予防教室等にすれば広い意味でとらえることができるのではないか。
- また、文言の「医療費削減の効果が期待できるスポーツ…」という表現であるが、委員の皆さんのイメージとしてどのようなものがあるか意見を伺いたい。
- 委員…スポーツをすることにより、結果、医療費削減への波及効果はあるかもしれないが、スポーツをすることにより医療費削減につなげていくものではないので、これを前面に打ち出すことはいかがなものか。
- 委員…目的ではなく、結果的に医療費削減につながったということか。
- 事務局…医療費削減について、今一度、表現は見直していく。
- 委員…3-3-①の富士見市発祥のニュースポーツ「バトテニス」について、非常に良い取り組みと考えているので、思い切って埼玉県から全国に広めていく位のアピールがあってもよいのでは。
- 会長…バトテニスにはスポーツ推進委員において取り組んでいる。高齢の方でも無理なくできるスポーツであり、市民の皆さんが継続してできるスポーツと考えている。
- 委員…全体的なことであるが、目標が多岐にわたっているため、今後、計画を策定した時に果たして目標達成できるのかが心配である。目標設定などはシンプルにして市民のスポーツ人口を増やすためにはどうしたらよいかという原点に戻ってもよいと思う。
- 委員…他市の事例であるが、保健分野では、運動は介護予防や健康増進のため、スポーツ分野では、競技志向など、同じような事業を縦割りでやっていることが多い。お互いに歩みよって情報交換とともに連携することによって、より効率的なものになることがある。こうした点も計画の中に位置づけられるようにしてはどうか。
- 委員…基本目標4の4-1-③の夜間にできるスポーツ充実とは。
夜間の開館時間を延長して、仕事帰りの遅い人にもスポーツ活動ができるよう取り組みたいので今回、施策展開の方向性に入れた。
- 委員…夜間にできるスポーツという表現よりも、「開館時間の延長…」という表現のほうがわかりやすいのではないか。
- 事務局…表現方法は再度検討する。

(3) その他

- ・ 5月1日（日曜日）に開催する富士見市 PR 大使委嘱式の出席について報告

以 上